

秋 田 県 内 中 小 企 業 景 況 調 査 結 果

(2020 年 4～6 月期)

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

I. 全産業の項目別DI値

II. 産業別DI値

III. 地域別DI値

IV. 産業別設備投資

V. 地域別設備投資

VI. 経営上の問題点

VII～IX. 付帯調査

X. 総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。
(▲:マイナス)

《参考》県内景況調査に対する各企業のコメント 一覧

〈回収状況〉

業 種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	38 (95.0%)
製造業	40	31 (77.5%)
卸売業	40	28 (70.0%)
小売業	40	37 (92.5%)
サービス業	40	36 (90.0%)
合 計	200	170 (85.0%)

地 域	対象企業数	有効回答企業数
県 北	50	44 (88.0%)
県 央	75	65 (86.7%)
県 南	75	61 (81.3%)

I. 全産業の項目別DI値

1. 業況

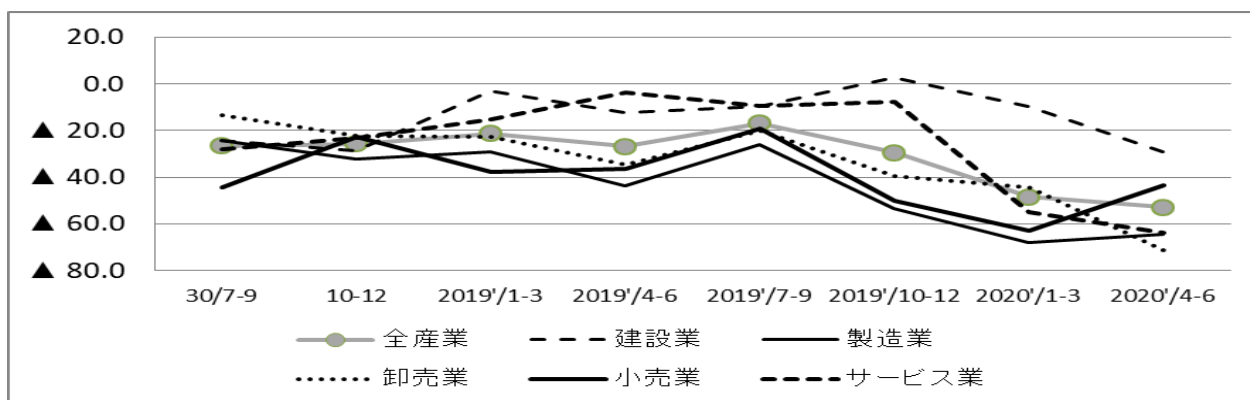
今期(4～6月)の業況DI値は、全産業で▲52.9と前期比で悪化し、調査開始(平成26年7～9月)以降最低の数値を更新した。

産業別では、卸売業、建設業、サービス業で悪化した。特に卸売業は▲71.4、サービス業は、▲63.9と調査開始以降最低の数値を更新した。一方、小売業、製造業は改善した。特に小売業はプラス19.6ポイントと大幅に改善した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲46.5と今期比で改善を見通している。

産業別では、小売業を除く4業種で改善を見通している。

	前期(1～3月)		(C)	今期(4～6月)		
	(A)	来期見通 (4～6月) (B)		前期比 (C)－(A)	来期見通(7～9月) (D)	今期比 (D)－(C)
全産業	▲48.4	▲63.7	▲52.9	-4.5	▲46.5	6.4
建設業	▲9.7	▲34.4	▲28.9	-19.2	▲15.8	13.1
製造業	▲67.8	▲74.2	▲64.5	3.3	▲51.6	12.9
卸売業	▲44.4	▲64.3	▲71.4	-27.0	▲67.9	3.5
小売業	▲62.9	▲76.5	▲43.3	19.6	▲46.0	-2.7
サービス業	▲54.8	▲68.8	▲63.9	-9.1	▲58.3	5.6



2. 売上額・完成工事額

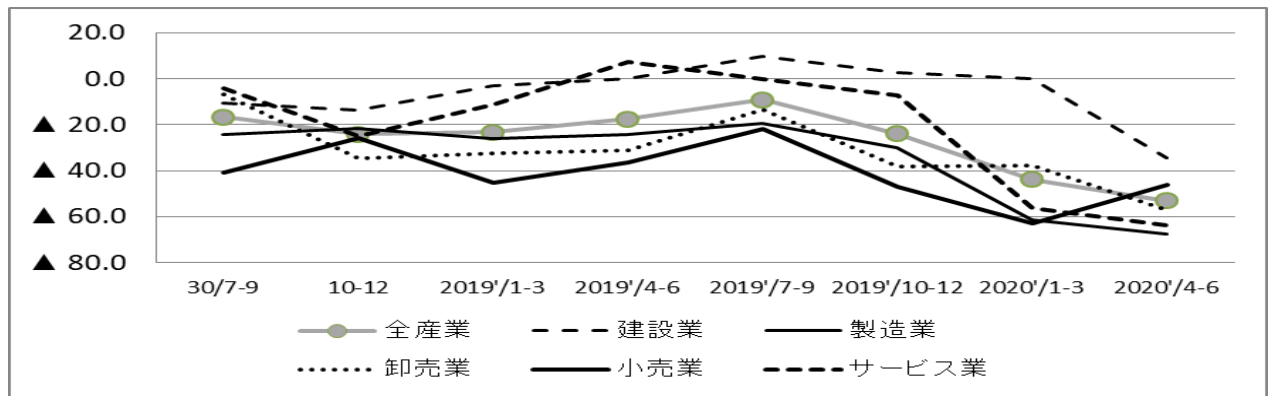
今期(4～6月)の売上額・完成工事額DI値は、全産業で▲53.0と前期比で悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

産業別では、小売業以外の4業種で悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲55.8と今期比でわずかな悪化を見通している。

産業別では、サービス業が横ばい、卸売業、小売業で悪化を見通している。一方、建設業、製造業は改善を見通している。

	前期(1～3月)		(C)	今期(4～6月)		
	(A)	来期見通 (4～6月) (B)		前期比 (C)－(A)	来期見通(7～9月) (D)	今期比 (D)－(C)
全産業	▲43.8	▲71.7	▲53.0	-9.2	▲55.8	-2.8
建設業	0.0	▲48.4	▲34.2	-34.2	▲26.3	7.9
製造業	▲61.2	▲80.7	▲67.7	-6.5	▲61.2	6.5
卸売業	▲37.9	▲72.4	▲57.2	-19.3	▲75.0	-17.8
小売業	▲62.8	▲85.3	▲46.0	16.8	▲59.5	-13.5
サービス業	▲56.3	▲71.8	▲63.9	-7.6	▲63.9	0.0



3. 資金繰り

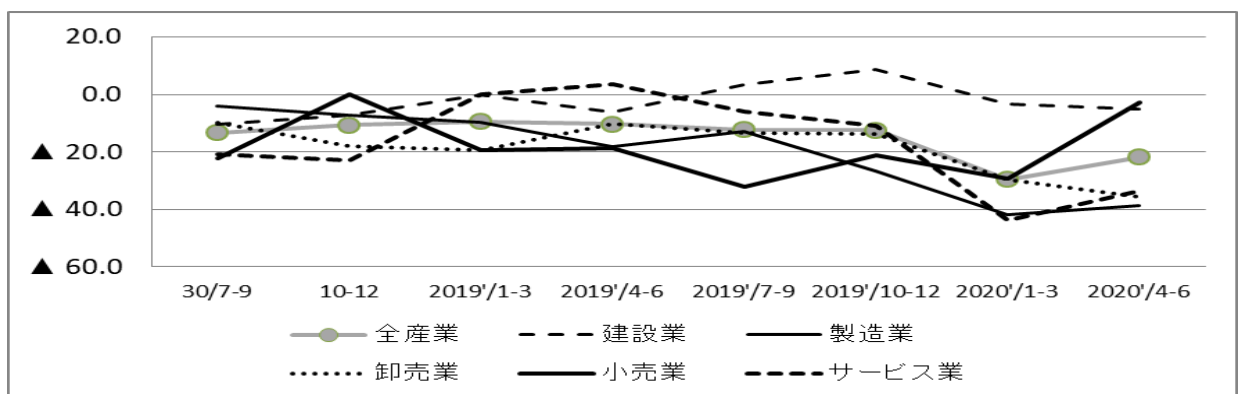
今期(4～6月)の資金繰りDI値は、全産業で▲21.9と前期比で改善した。

産業別では、小売業、サービス業、製造業が改善した。特に小売業はプラス26.6ポイントと大幅に改善した。一方、卸売業、建設業は悪化した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲30.8と今期比で悪化を見通している。

産業別では、製造業以外の4業種で悪化を見通している。特に小売業はマイナス27.8ポイントの大幅な悪化を見通している。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比 (C)－(A)	来期見通(7～9月)	今期比 (D)－(C)
		(B)			(D)	
全産業	▲29.6	▲44.6	▲21.9	7.7	▲30.8	-8.9
建設業	▲3.3	▲22.6	▲5.2	-1.9	▲7.9	-2.7
製造業	▲41.9	▲45.2	▲38.7	3.2	▲29.1	9.6
卸売業	▲29.6	▲39.3	▲35.7	-6.1	▲50.0	-14.3
小売業	▲29.4	▲51.4	▲2.8	26.6	▲30.6	-27.8
サービス業	▲43.7	▲62.5	▲33.4	10.3	▲41.6	-8.2



4. 受注残(未消化工事高)

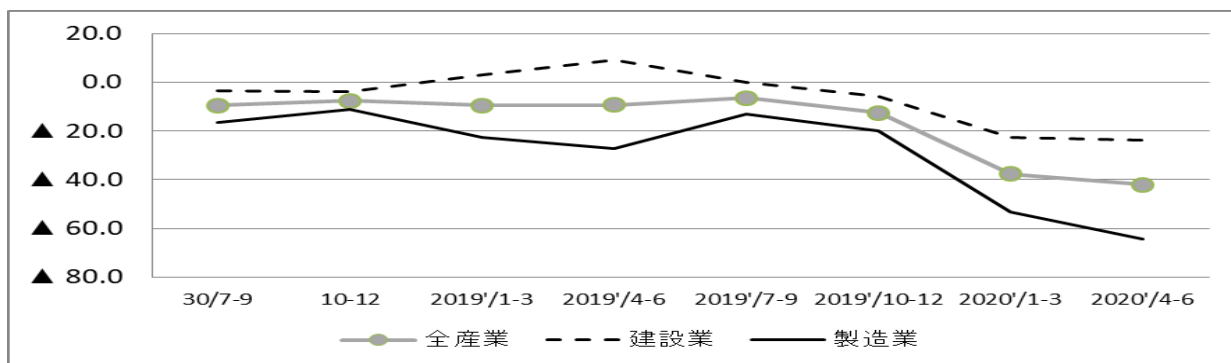
今期(4～6月)の受注残DI値は、全産業で▲42.1と前期比で悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

産業別では、製造業、建設業とも悪化した。特に製造業は▲64.5と調査開始以降最低の数値を更新した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲43.3と今期比でわずかな悪化を見通している。

産業別では、建設業は悪化、製造業は改善を見通している。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)－(C)
		(B)		(C)－(A)	(D)	
全産業	▲ 37.7	▲ 47.6	▲ 42.1	-4.4	▲ 43.3	-1.2
建設業	▲ 22.6	▲ 29.0	▲ 23.7	-1.1	▲ 34.2	-10.5
製造業	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 64.5	-11.2	▲ 55.2	9.3



5. 採算(経常利益)

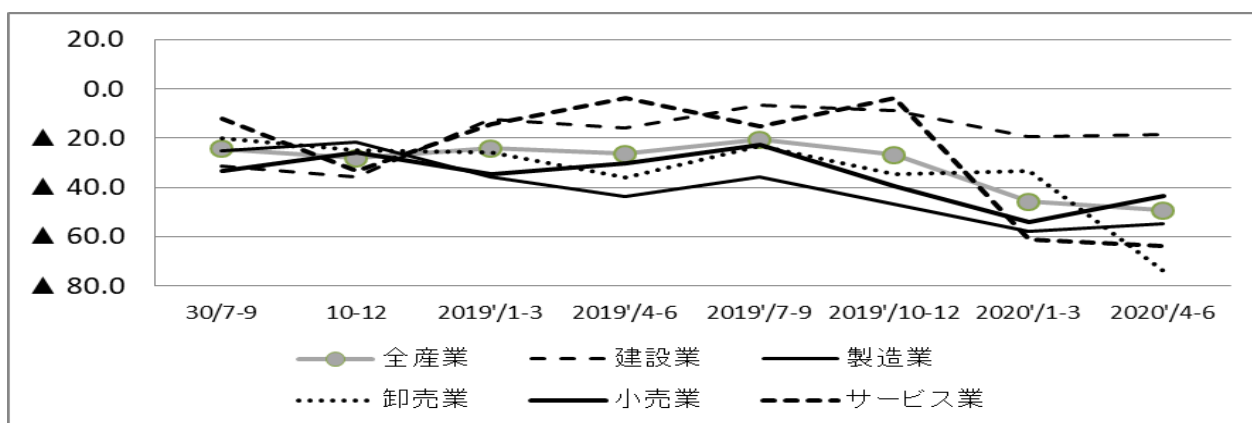
今期(4～6月)の採算DI値は、全産業で▲49.2と前期比で悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

産業別では、卸売業、サービス業が悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。一方、小売業、製造業、建設業は改善した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲50.6と今期比でわずかな悪化を見通している。

産業別では、サービス業以外の4業種で悪化を見通している。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)－(C)
		(B)		(C)－(A)	(D)	
全産業	▲ 45.8	▲ 64.1	▲ 49.2	-3.4	▲ 50.6	-1.4
建設業	▲ 19.3	▲ 25.0	▲ 18.4	0.9	▲ 21.0	-2.6
製造業	▲ 58.0	▲ 77.4	▲ 54.8	3.2	▲ 58.1	-3.3
卸売業	▲ 33.3	▲ 64.3	▲ 74.1	-40.8	▲ 75.0	-0.9
小売業	▲ 54.2	▲ 73.6	▲ 43.3	10.9	▲ 51.4	-8.1
サービス業	▲ 61.3	▲ 80.6	▲ 63.8	-2.5	▲ 55.5	8.3



6. 従業員(含む臨時)

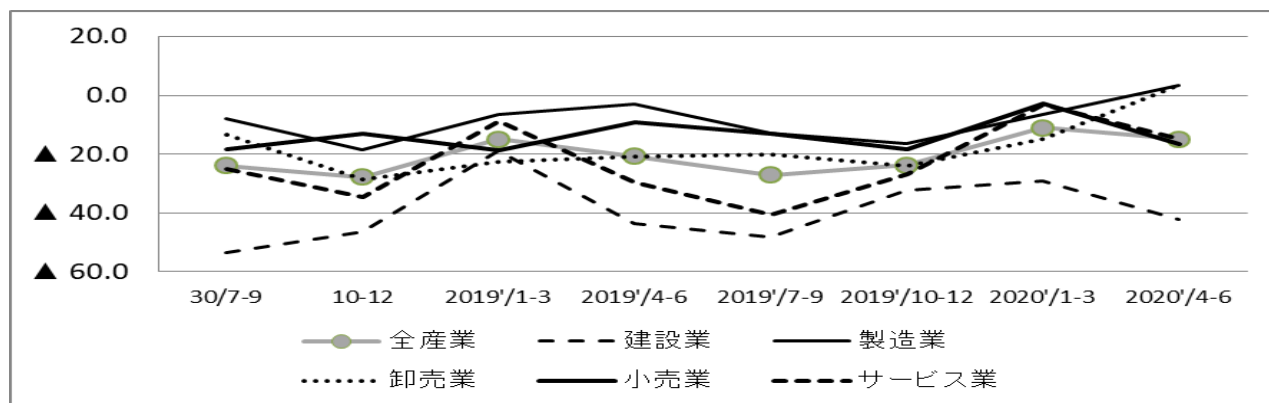
今期(4～6月)の従業員DI値は、全産業で▲14.9と前期比で不足感を拡大した。

産業別では、小売業、建設業、サービス業が不足感を拡大する一方、卸売業、製造業は前期の不足から過剰に転じた。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲15.7と今期比でわずかな不足感の拡大を見通している。

産業別では、卸売業、製造業が今期の過剰から不足へ転じる見通しをしている。一方、サービス業、小売業、建設業は不足感の縮小を見通している。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)－(C)
		(B)		(C)－(A)	(D)	
全産業	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 14.9	-3.9	▲ 15.7	-0.8
建設業	▲ 29.1	▲ 25.8	▲ 42.1	-13.0	▲ 40.5	1.6
製造業	▲ 6.4	▲ 6.4	3.2	9.6	▲ 3.2	-6.4
卸売業	▲ 14.8	▲ 14.3	3.6	18.4	▲ 3.6	-7.2
小売業	▲ 2.8	▲ 5.7	▲ 16.6	-13.8	▲ 13.9	2.7
サービス業	▲ 3.2	12.9	▲ 14.7	-11.5	▲ 11.7	3.0



II. 産業別DI値

1. 建設業

今期(4～6月)のDI値は、業況が▲28.9と前期比で大幅に悪化した。

項目別では、採算がほぼ横ばい、完成工事額、資金繰り、受注残が悪化した。特に完成工事額はマイナス 34.2 ポイントと大幅に悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「従業員のキャパ的には丁度良いが予定していた工事の延期・中止の物件あり」【鉋金工事業】とのコメントがある一方、「6月に個人顧客の発注が増加。昨年比では不変」【塗装工事業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7～9月)は、業況が▲15.8と今期比で改善を見通している。

項目別では、完成工事額が改善を見通す一方、受注残、資金繰り、採算は悪化を見通している。従業員はわずかな不足感の縮小を見通している。

企業からは、「新型コロナウイルスから少しは持ち直すだろう」【木造建築工事業】とのコメントがある一方、「今後の民間投資の差し控え、冷え込み等を考えると来期以降、大きな落ち込みが予想される」【板金工事業】とのコメントがあった。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)－(C)
		(B)		(C)－(A)	(D)	
業況	▲ 9.7	▲ 34.4	▲ 28.9	-19.2	▲ 15.8	13.1
完成工事額	0.0	▲ 48.4	▲ 34.2	-34.2	▲ 26.3	7.9
資金繰り	▲ 3.3	▲ 22.6	▲ 5.2	-1.9	▲ 7.9	-2.7
受注残	▲ 22.6	▲ 29.0	▲ 23.7	-1.1	▲ 34.2	-10.5
採算(経常利益)	▲ 19.3	▲ 25.0	▲ 18.4	0.9	▲ 21.0	-2.6
従業員(含む臨時)	▲ 29.1	▲ 25.8	▲ 42.1	-13.0	▲ 40.5	1.6

2. 製造業

今期(4～6月)のDI値は、業況が▲64.5と前期比で改善した。

項目別では、資金繰り、採算が改善する一方、受注残、売上額は悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。従業員は前期の不足から過剰に転じた。

企業からは、「売上はさほど変化はないものの、収益性の悪い土木工事向けの出荷が主となり、利益の低下となっている」【コンクリート製造】とのコメントがある一方、「新型コロナウイルス感染拡大により、業務用市場の激減が影響し、売上は大きく減少。家庭向けのパック製品は善戦したものの業務用の落ち込みを補うほどではなかった」【清酒製造業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7～9月)は、業況が▲51.6と今期比で大幅な改善を見通している。

項目別では、資金繰り、受注残、売上額で改善を見通す一方、採算は悪化を見通している。従業員は今期の過剰から不足に転じる見通しをしている。

企業からは「6月中旬以降は、ほぼ例年どおりの操業状況となっている。今後、年末に向けて受注は増加していく予定だが、コロナの第2波が不安である」【金属製品製造業】とのコメントがある一方、「感染拡大の第2波、第3波が発生するリスクが色濃く残り、社会隔離による飲食店の売上減。地元においては祭り等イベント中止がさらに追い打ちをかける」【清酒製造業】とのコメントがあった。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)－(C)
		(B)		(C)－(A)	(D)	
業況	▲ 67.8	▲ 74.2	▲ 64.5	3.3	▲ 51.6	12.9
売上額	▲ 61.2	▲ 80.7	▲ 67.7	-6.5	▲ 61.2	6.5
資金繰り	▲ 41.9	▲ 45.2	▲ 38.7	3.2	▲ 29.1	9.6
受注残	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 64.5	-11.2	▲ 55.2	9.3
採算(経常利益)	▲ 58.0	▲ 77.4	▲ 54.8	3.2	▲ 58.1	-3.3
従業員(含む臨時)	▲ 6.4	▲ 6.4	3.2	9.6	▲ 3.2	-6.4

3. 卸売業

今期(4～6月)のDI値は、業況が▲71.4と前期比で悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

項目別では、採算、売上額、資金繰りが悪化した。特に採算、売上額は調査開始以降最低の数値を更新した。従業員は前期の不足から過剰に転じた。

企業からは、「ホテル、飲食業関係の売上が激減した分をスーパー、ドラッグストア、コンビニ等の増加でカバーしてきたが、それでも微減となった」【雑貨卸売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7～9月)は、業況が▲67.9と今期比で改善を見通している。

項目別では、売上額、資金繰り、採算で悪化を見通している。特に売上額、採算は▲75.0と非常に厳しい見通しをしている。従業員は今期の過剰から不足に転じる見通しをしている。

企業からは、「ホテル、飲食業関係の売上が回復しないまま、スーパー、ドラッグストア、コンビニ等の売上が減少していく傾向にある」【雑貨卸売業】とのコメントがあった。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
		来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通(7～9月)	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
業況	▲ 44.4	▲ 64.3	▲ 71.4	-27.0	▲ 67.9	3.5
売上額	▲ 37.9	▲ 72.4	▲ 57.2	-19.3	▲ 75.0	-17.8
資金繰り	▲ 29.6	▲ 39.3	▲ 35.7	-6.1	▲ 50.0	-14.3
採算(経常利益)	▲ 33.3	▲ 64.3	▲ 74.1	-40.8	▲ 75.0	-0.9
従業員(含む臨時)	▲ 14.8	▲ 14.3	3.6	18.4	▲ 3.6	-7.2

4. 小売業

今期(4～6月)のDI値は、業況が▲43.3と前期比で大幅に改善した。

項目別では、資金繰り、売上額、採算が改善した。特に資金繰りはプラス 26.6 ポイントと大幅に改善した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「新型コロナウイルス感染の中、当店は1～6月まで売上が前年比でアップしている。5、6月は特別給付金 10 万円もあり、毎日来店客が多く、忙しい」【時計小売業】とのコメントがある一方、「コロナ禍の影響で飲食店が苦戦しているので、酒類の売上が減少。インターネット通販の食品売上が前年の2倍近い。全体としては 15%くらい減少【酒類・食料品小売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7～9月)は、業況は▲46.0と今期比でわずかな悪化を見通している。

項目別では、資金繰り、売上額、採算で悪化を見通している。特に資金繰りはマイナス 27.8 ポイントと大幅な悪化を見通している。従業員はわずかながら不足感の縮小を見通している。

企業からは、「新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、メーカーの生産ラインが徐々に回復しているものの、出荷遅れの解消には時間を要することから前年同期より2割程度の減益を見込む」【自動車小売業】とのコメントがある一方、「女性のお客様が增加して来ているので、その分売上が期待できる」【衣類販売】とのコメントがあった。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
		来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通(7～9月)	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
業況	▲ 62.9	▲ 76.5	▲ 43.3	19.6	▲ 46.0	-2.7
売上額	▲ 62.8	▲ 85.3	▲ 46.0	16.8	▲ 59.5	-13.5
資金繰り	▲ 29.4	▲ 51.4	▲ 2.8	26.6	▲ 30.6	-27.8
採算(経常利益)	▲ 54.2	▲ 73.6	▲ 43.3	10.9	▲ 51.4	-8.1
従業員(含む臨時)	▲ 2.8	▲ 5.7	▲ 16.6	-13.8	▲ 13.9	2.7

5. サービス業

今期(4～6月)のDI値は、業況が▲63.9と前期比で悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

項目別では、売上額、採算が悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。一方、資金繰りは改善した。従業員は大幅に不足感を拡大した。

企業からは、「3月から6月の売上が前年比で9割減少」【日本料理店】とのコメントがある一方、「コロナ対抗のための観光キャンペーン等で少し売上が増加した」【広告代理店】とのコメントがあった。

来期の見通し(7～9月)は、業況は▲58.3と今期比で改善を見通している。

項目別では売上額が横ばい、採算が改善する一方、資金繰りは悪化の見通しをしている。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「得意先も徐々に営業してきているが、まだ完全とは言えないので売上の増加にはな

っていない」【ビルメンテナンス業】とのコメントがある一方、「ユーザーの高齢化による車両所有減、車両自体の腐食による廃車等で業務が縮小するため売上減少を見込む」【自動車整備、販売】とのコメントがあった。

	前期(1～3月)		(C)	今期(4～6月)		
	(A)	来期見通 (4～6月) (B)		前期比 (C)－(A)	来期見通(7～9月) (D)	今期比 (D)－(C)
業況	▲ 54.8	▲ 68.8	▲ 63.9	-9.1	▲ 58.3	5.6
売上額	▲ 56.3	▲ 71.8	▲ 63.9	-7.6	▲ 63.9	0.0
資金繰り	▲ 43.7	▲ 62.5	▲ 33.4	10.3	▲ 41.6	-8.2
採算(経常利益)	▲ 61.3	▲ 80.6	▲ 63.8	-2.5	▲ 55.5	8.3
従業員(含む臨時)	▲ 3.2	12.9	▲ 14.7	-11.5	▲ 11.7	3.0

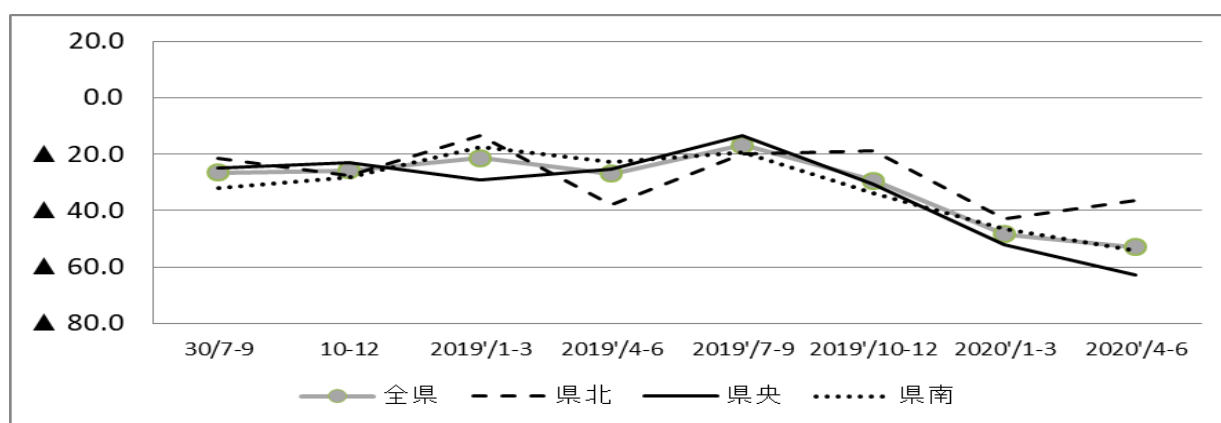
Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期(4～6月)のDI値は、前期比で県北が改善する一方、県央、県南が悪化し、ともに調査開始以降最低の数値を更新した。

来期の見通し(7～9月)は、今期比で全域が改善するものの、県央は引き続き▲50を下回る見通しをしている。

	前期(1～3月)		(C)	今期(4～6月)		
	(A)	来期見通 (4～6月) (B)		前期比 (C)－(A)	来期見通(7～9月) (D)	今期比 (D)－(C)
全 県	▲ 48.4	▲ 63.7	▲ 52.9	-4.5	▲ 46.5	6.4
県 北	▲ 42.9	▲ 60.7	▲ 36.4	6.5	▲ 34.1	2.3
県 央	▲ 52.2	▲ 56.0	▲ 63.0	-10.8	▲ 52.3	10.7
県 南	▲ 46.6	▲ 73.0	▲ 54.1	-7.5	▲ 49.2	4.9

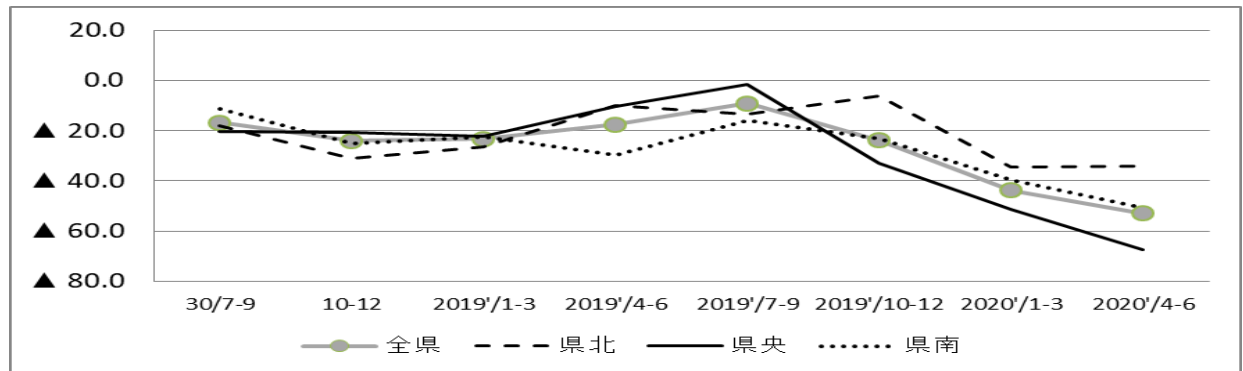


2. 売上額・完成工事額

今期(4～6月)のDI値は、前期比で県北がほぼ横ばいとなった。県央、県南は大幅に悪化し、ともに調査開始以降最低の数値を更新した。

来期見通し(7～9月)は、今期比で県北、県南が悪化を見通す一方、県央は改善を見通している。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)－(C)
		(B)		(C)－(A)	(D)	
全 県	▲ 43.8	▲ 71.7	▲ 53.0	-9.2	▲ 55.8	-2.8
県 北	▲ 34.5	▲ 62.1	▲ 34.1	0.4	▲ 43.1	-9.0
県 央	▲ 51.4	▲ 67.1	▲ 67.6	-16.2	▲ 60.0	7.6
県 南	▲ 39.6	▲ 80.9	▲ 50.8	-11.2	▲ 60.7	-9.9

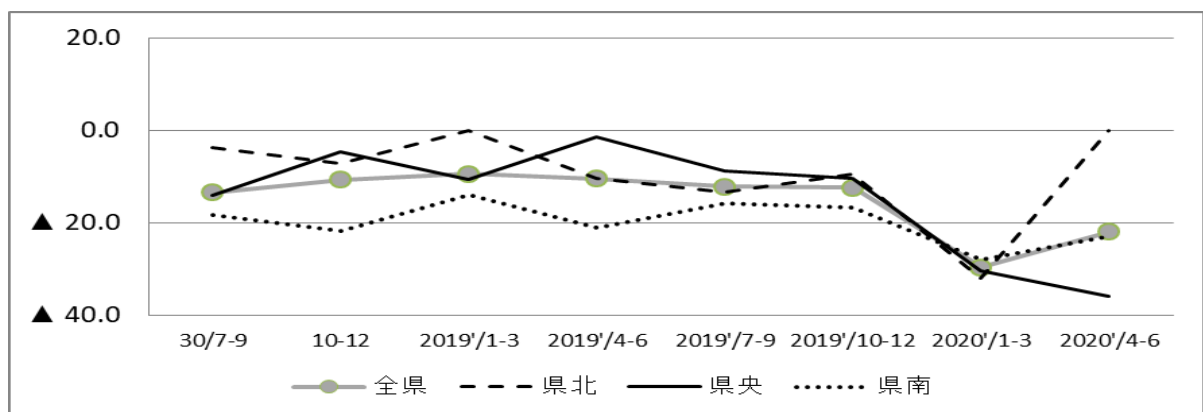


3. 資金繰り

今期(4～6月)のDI値は、前期比で県北、県南が改善する一方、県央は悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

来期見通し(7～9月)は、今期比で全域の悪化を見通している。特に県北はマイナス 20.5 ポイントの大幅な悪化を見通している。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)－(C)
		(B)		(C)－(A)	(D)	
全 県	▲ 29.6	▲ 44.6	▲ 21.9	7.7	▲ 30.8	-8.9
県 北	▲ 32.1	▲ 35.7	0.0	32.1	▲ 20.5	-20.5
県 央	▲ 30.3	▲ 35.8	▲ 35.9	-5.6	▲ 40.6	-4.7
県 南	▲ 27.9	▲ 58.1	▲ 22.9	5.0	▲ 27.8	-4.9

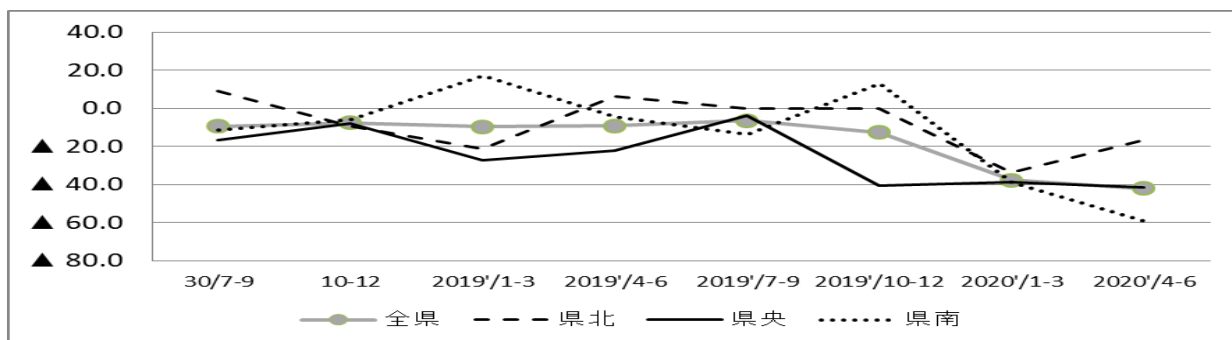


4. 受注残(未消化工事高)

今期(4～6月)のDI値は、前期比で、県北は改善する一方、県南、県央が悪化し、ともに調査開始以降最低の数値を更新した。

来期見通し(7～9月)は、今期比で県北が悪化を見通す一方、県南、県央は改善を見通している。

		前期(1～3月)		今期(4～6月)			
		(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	
			(B)		(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
	全 県	▲ 37.7	▲ 47.6	▲ 42.1	-4.4	▲ 43.3	-1.2
	県 北	▲ 33.4	▲ 27.3	▲ 16.7	16.7	▲ 33.3	-16.6
	県 央	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 41.6	-3.1	▲ 39.1	2.5
	県 南	▲ 39.1	▲ 66.7	▲ 59.3	-20.2	▲ 53.9	5.4

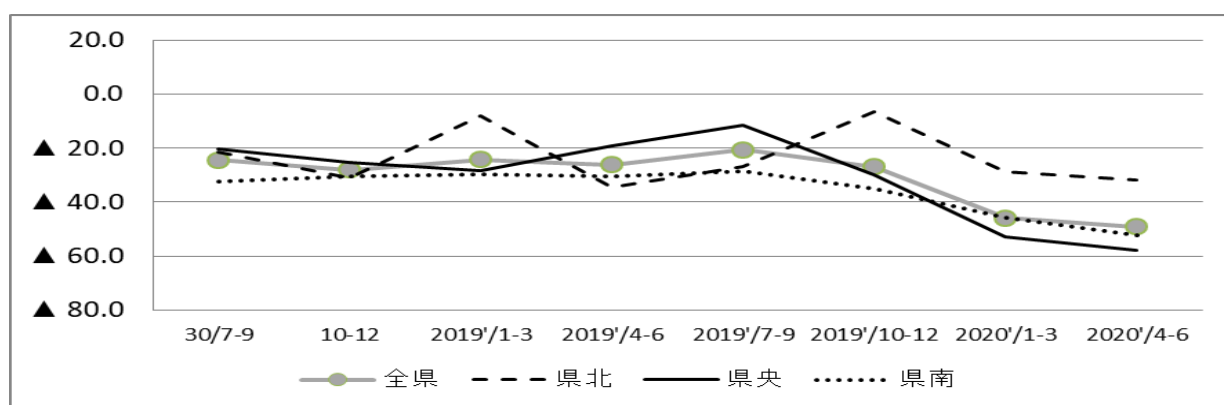


5. 採算(経常利益)

今期(4～6月)のDI値は、前期比で全域が悪化した。特に県央、県南は、ともに調査開始以降最低の数値を更新した。

来期見通し(7～9月)は、今期比で県南が横ばい、県央がわずかに改善、県北が悪化を見通している。

		前期(1～3月)		今期(4～6月)			
		(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	
			(B)		(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
	全 県	▲ 45.8	▲ 64.1	▲ 49.2	-3.4	▲ 50.6	-1.4
	県 北	▲ 28.6	▲ 57.1	▲ 31.8	-3.2	▲ 38.6	-6.8
	県 央	▲ 53.0	▲ 61.5	▲ 57.9	-4.9	▲ 56.9	1.0
	県 南	▲ 45.9	▲ 69.8	▲ 52.4	-6.5	▲ 52.4	0.0

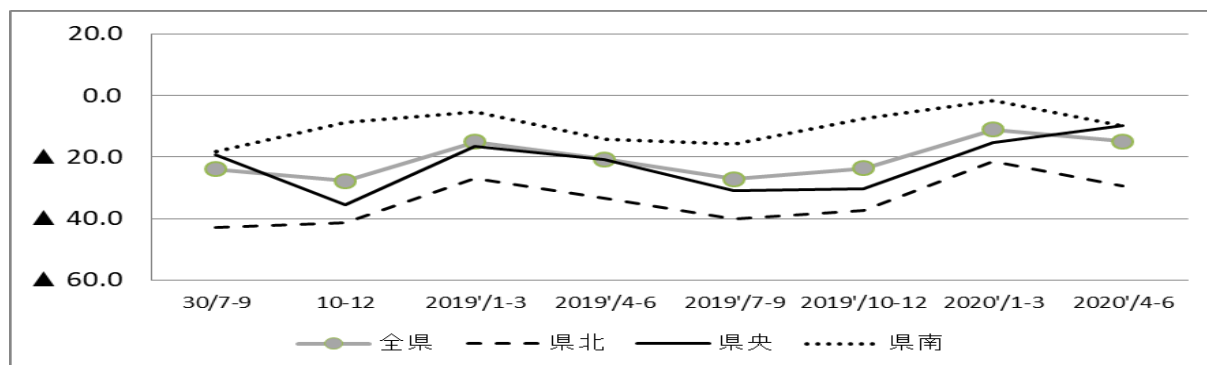


6. 従業員(含む臨時)

今期(4～6月)のDI値は、前期比で県北、県南が不足感を拡大する一方、県央が不足感を縮小した。

来期見通し(7～9月)は、今期比で県南が横ばい、県央が不足感の拡大を見通す一方、県北が不足感の縮小を見通している。

	前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	
		(B)		(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全 県	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 14.9	-3.9	▲ 15.7	-0.8
県 北	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 29.5	-8.0	▲ 27.3	2.2
県 央	▲ 15.2	▲ 12.1	▲ 9.7	5.5	▲ 13.1	-3.4
県 南	▲ 1.6	3.2	▲ 9.9	-8.3	▲ 9.8	0.1



IV. 産業別設備投資

全産業における今期(4～6月)の設備投資については、「実施した」とする企業は57件で、前期比で6件増加した。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは小売業(14件)、次いで建設業、サービス業(ともに13件)、製造業(11件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(18件)、次いで「建物・工場・店舗」(15件)、「OA機器」(14件)の順となっている。

来期(7～9月)の計画では、全産業で「計画している」としたのは40件で、今期比で17件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、製造業(11件)、次いで建設業(10件)、サービス業(9件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(20件)、「機械・設備・倉庫」(9件)、「建物・工場・店舗」「OA機器」(ともに6件)の順となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(1～3月)				今期(4～6月)					
	実施した (A)	実施しない (B)	来期の計画(4～6月)		実施した (C)	実施しない (D)	前期比 (C-A)	来期の計画(7～9月)		
			計画している (E)	計画していない (F)				計画している (G)	計画していない (H)	今期比 (D-C)
全 産 業	51	109	41	119	57	113	6	40	129	▲ 17
建 設 業	14	19	12	21	13	25	▲ 1	10	28	▲ 3
製 造 業	9	22	7	24	11	20	2	11	19	0
卸 売 業	8	21	7	22	6	22	▲ 2	6	22	0
小 売 業	7	28	6	29	14	23	7	4	33	▲ 10
サービス業	13	19	9	23	13	23	0	9	27	▲ 4

設備内容(複数回答)

(件数)

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	3	2	0	1	2	0	0	0	0	0	1	1
②建物・工場・店舗	15	6	2	1	1	2	2	0	7	1	3	2
③機械・設備・倉庫	10	9	4	2	4	5	0	0	1	0	1	2
④車両・運搬具	18	20	6	5	2	4	2	3	4	3	4	5
⑤付帯施設	7	4	0	0	2	1	0	1	2	0	3	2
⑥OA機器	14	6	5	2	2	1	2	2	2	0	3	1
⑦福利厚生施設	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
⑧その他	3	2	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0
合 計	71	49	17	12	15	13	6	7	17	4	16	13

V. 地域別設備投資

今期(4～6月)の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で県北、県南が増加、県央が減少した。

設備投資で最も多いのは、県北で「車両・運搬具」「OA機器」(ともに4件)、県央で「車両・運搬具」(9件)、県南で「建物・工場・店舗」「機械・設備・倉庫」(ともに7件)となった。

来期(7～9月)の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で全域が減少を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北で「車両・運搬具」(5件)、県央で「車両・運搬具」(9件)、県南で「車両・運搬具」(6件)となっている。

設備投資状況

(件数)

		前期(1～3月)				今期(4～6月)					
		実施した (A)	実施しない	来期の計画(4～6月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期の計画(7～9月)		
				計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
	全 体	51	109	41	119	57	113	6	40	129	▲ 17
	県 北	11	18	9	20	14	30	3	11	32	▲ 3
	県 央	24	44	22	46	21	44	▲ 3	15	50	▲ 6
	県 南	16	47	10	53	22	39	6	14	47	▲ 8

設備内容(複数回答)

(件数)

	全県		県北		県央		県南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	3	2	3	0	0	1	1	1
②建物・工場・店舗	15	6	3	2	6	2	7	3
③機械・設備・倉庫	10	9	2	2	2	3	7	4
④車両・運搬具	18	20	4	5	9	9	5	6
⑤付帯施設	7	4	1	0	5	3	1	1
⑥OA機器	14	6	4	1	6	3	3	2
⑦福利厚生施設	1	0	0	0	1	0	0	0
⑧その他	3	2	1	2	0	0	2	0
合 計	71	49	18	12	29	21	26	17

VI. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、製造業、卸売業、小売業、サービス業が「需要の停滞」を第1位に挙げている。建設業は「官公需要の停滞」「従業員の確保難」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「熟練技術者の確保難」「下請業者の確保難」、製造業が「製品（加工）単価の低下・上昇難」、卸売業が「販売単価の低下・上昇難」「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」「人件費以外の経費増加」「代金回収の悪化」、小売業が「人件費以外の経費増加」、サービス業が「従業員の確保難」を問題点として挙げており、需要の停滞による売上の伸び悩みや人材不足、販売単価の低下・上昇難、人件費以外の経費の増加等が経営課題となっていることがうかがえる。

	1位		2位		3位	
建設業	官公需要の停滞 従業員の確保難		熟練技術者の確保難 下請業者の確保難		下請業者の確保難	
	18.9%	7件	25.0%	8件	18.5%	5件
製造業	需要の停滞		需要の停滞 製品（加工）単価の低下・上昇難		製品（加工）単価の低下・上昇難	
	30.0%	9件	17.9%	5件	23.8%	5件
卸売業	需要の停滞		販売単価の低下・上昇難 店舗・倉庫の狭隘・老朽化 人件費以外の経費の増加		代金回収の悪化	
	57.7%	15件	16.0%	4件	19.0%	4件
小売業	需要の停滞		需要の停滞		人件費以外の経費の増加	
	23.5%	8件	18.8%	6件	19.2%	5件
サービス業	需要の停滞		需要の停滞		従業員の確保難	
	30.3%	10件	18.5%	5件	33.3%	7件

※ %は1位、2位、3位それぞれの回答数（＝100％）の割合を示したものの。

参考：1～3位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	民間需要の停滞 下請業者の確保難		熟練技術者の確保難		官公需要の停滞 従業員の確保難	
	16.7%	16件	15.6%	15件	12.5%	12件
製造業	需要の停滞		生産設備の不足・老朽化		製品（加工）単価の低下・上昇難	
	20.3%	16件	15.2%	12件	13.9%	11件
卸売業	需要の停滞		仕入単価の上昇		販売単価の低下・上昇難 店舗・倉庫の狭隘・老朽化	
	27.8%	20件	12.5%	9件	9.7%	7件
小売業	需要の停滞		消費者ニーズの変化への対応		人件費以外の経費の増加	
	17.4%	16件	14.1%	13件	12.0%	11件
サービス業	需要の停滞		利用者ニーズの変化への対応		従業員の確保難	
	20.2%	17件	17.9%	15件	14.3%	12件

※ %は1～3位までの総回答数（＝100％）の割合を示したものの。

【付帯調査】

◎新型コロナウイルス感染拡大による影響に関する調査

Ⅶ. 8月7日～8月28日時点の業務への影響

- ・業務への影響について聞いたところ、回答のあった168件中、①「影響が続いている」が81件48.2%、次いで②「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」の69件41.1%、③「影響はない」の18件10.7%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)
①影響が続いている	81	48.2
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	69	41.1
③影響はない	18	10.7
合 計	168	100.0

Ⅷ. 事業継続と感染拡大防止の両立にあたり実施している対応について（複数回答可）

- ・実施している対応について聞いたところ、回答のあった366件中、⑪「店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、手指等の消毒徹底」が87件23.8%、次いで⑤「出張の原則禁止・制限」の62件16.9%、⑩「店舗・オフィス等のレイアウトの見直し（席配置、飛沫感染予防シート設置など）」の36件9.8%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)
①時差出勤の実施	3	0.8
②テレワークの実施	11	3.0
③ローテーション勤務の導入	5	1.4
④フレックスタイム制の導入による柔軟な勤務体制整備	10	2.7
⑤出張の原則禁止・制限	62	16.9
⑥営業時間の短縮・営業日数の削減	18	4.9
⑦会議の開催頻度・時間・人数の削減・制限	31	8.5
⑧会議・稟議等のオンライン化	29	7.9
⑨キャッシュレス等の電子決済の導入	16	4.4
⑩店舗・オフィス等のレイアウトの見直し（席配置、飛沫感染予防シート設置など）	36	9.8
⑪店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、手指等の消毒徹底	87	23.8
⑫「新しい生活様式」に対応した商品・サービスの提供	21	5.7
⑬その他	9	2.5
⑭特別な対応は取っていない	28	7.7
合 計	366	100.0

○その他のコメント

・建設業

- ・県外での会議、講習等のへの不参加（塗装工事）
- ・マスク着用、検温の実施（土木工事）

・製造業

- ・工場と事務所について、夏場の換気対策と熱中症予防のため、エアコンの増設、スポットクーラーの増設を行なった（金属製品）
- ・持続化給付金の活用（機械製造）

・卸売業

- ・販売計画の見直し、運転資金の調達（文房具）
- ・設備投資の中止、延期（飲料品）

・小売業

- ・従業員の体温測定（陶磁器）
- ・⑨の電子決済の導入を検討中（飲料品）

・サービス業

- ・設備投資の中止、運転資金の調達（自動車整備）

Ⅸ. 今年度の雇用や採用関連の動きについて（複数回答可）

- ・雇用や採用関連の動きについて聞いたところ、回答のあった140件中、⑤「正社員の休業を実施」が14件10.0%、次いで⑥「パート・アルバイト等（非正規社員）の休業を実施」、⑪「雇用調整助成金を申請し、既に支給された」の13件9.3%、①「新卒採用（正社員）を縮小・見送る」の11件7.9%の順となった。なお、⑬「該当なし」も48件34.3%あった。

選 択 肢	件数	構成比(%)
①新卒採用（正社員）を縮小・見送る	11	7.9
②中途採用（正社員）を縮小・見送る	9	6.4
③パート・アルバイト等（非正規社員）の採用を縮小・見送る	6	4.3
④派遣労働者の人数を縮小、労働者の派遣自体を見送る	0	0.0
⑤正社員の休業を実施	14	10.0
⑥パート・アルバイト等（非正規社員）の休業を実施	13	9.3
⑦派遣契約を維持した上で派遣労働者の休業を実施	2	1.4
⑧従業員の人員整理（整理解雇、雇い止め等）を検討・実施	8	5.7
⑨雇用調整助成金の申請を検討している	9	6.4
⑩雇用調整助成金を申請し、支給待ちの状況（審査・手続中）	4	2.9
⑪雇用調整助成金を申請し、既に支給された	13	9.3
⑫雇用調整助成金制度がわからない・手続が煩雑であるため、申請は行わない	3	2.1
⑬該当なし	48	34.3
合 計	140	100.0

X. 総括表

秋田県内中小企業景況調査 全産業別景気判断比較表(DI値) (第1四半期:2020年4月～6月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)			
		来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通			来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通			来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通	
		(A)			(B)	(C)					(C)－(A)	(D)					(D)－(C)	(A)
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全産業	▲ 48.4	▲ 63.7	▲ 52.9	-4.5	▲ 46.5	6.4	▲ 43.8	▲ 71.7	▲ 53.0	-9.2	▲ 55.8	-2.8	▲ 29.6	▲ 44.6	▲ 21.9	7.7	▲ 30.8	-8.9
建設業	▲ 9.7	▲ 34.4	▲ 28.9	-19.2	▲ 15.8	13.1	0.0	▲ 48.4	▲ 34.2	-34.2	▲ 26.3	7.9	▲ 3.3	▲ 22.6	▲ 5.2	-1.9	▲ 7.9	-2.7
製造業	▲ 67.8	▲ 74.2	▲ 64.5	3.3	▲ 51.6	12.9	▲ 61.2	▲ 80.7	▲ 67.7	-6.5	▲ 61.2	6.5	▲ 41.9	▲ 45.2	▲ 38.7	3.2	▲ 29.1	9.6
卸売業	▲ 44.4	▲ 64.3	▲ 71.4	-27.0	▲ 67.9	3.5	▲ 37.9	▲ 72.4	▲ 57.2	-19.3	▲ 75.0	-17.8	▲ 29.6	▲ 39.3	▲ 35.7	-6.1	▲ 50.0	-14.3
小売業	▲ 62.9	▲ 76.5	▲ 43.3	19.6	▲ 46.0	-2.7	▲ 62.8	▲ 85.3	▲ 46.0	16.8	▲ 59.5	-13.5	▲ 29.4	▲ 51.4	▲ 2.8	26.6	▲ 30.6	-27.8
サービス業	▲ 54.8	▲ 68.8	▲ 63.9	-9.1	▲ 58.3	5.6	▲ 56.3	▲ 71.8	▲ 63.9	-7.6	▲ 63.9	0.0	▲ 43.7	▲ 62.5	▲ 33.4	10.3	▲ 41.6	-8.2

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)					
	前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)			
		来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通			来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通			来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通	
					(D)	今期比 (D)－(C)					(D)	今期比 (D)－(C)					(D)	今期比 (D)－(C)
(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	
全産業	▲ 37.7	▲ 47.6	▲ 42.1	-4.4	▲ 43.3	-1.2	▲ 45.8	▲ 64.1	▲ 49.2	-3.4	▲ 50.6	-1.4	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 14.9	-3.9	▲ 15.7	-0.8
建設業	▲ 22.6	▲ 29.0	▲ 23.7	-1.1	▲ 34.2	-10.5	▲ 19.3	▲ 25.0	▲ 18.4	0.9	▲ 21.0	-2.6	▲ 29.1	▲ 25.8	▲ 42.1	-13.0	▲ 40.5	1.6
製造業	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 64.5	-11.2	▲ 55.2	9.3	▲ 58.0	▲ 77.4	▲ 54.8	3.2	▲ 58.1	-3.3	▲ 6.4	▲ 6.4	3.2	9.6	▲ 3.2	-6.4
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲ 33.3	▲ 64.3	▲ 74.1	-40.8	▲ 75.0	-0.9	▲ 14.8	▲ 14.3	3.6	18.4	▲ 3.6	-7.2
小売業	—	—	—	—	—	—	▲ 54.2	▲ 73.6	▲ 43.3	10.9	▲ 51.4	-8.1	▲ 2.8	▲ 5.7	▲ 16.6	-13.8	▲ 13.9	2.7
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲ 61.3	▲ 80.6	▲ 63.8	-2.5	▲ 55.5	8.3	▲ 3.2	12.9	▲ 14.7	-11.5	▲ 11.7	3.0

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第1四半期:2020年4月～6月)

1. 今期の状況

業 種 \ 項 目		業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	12	56	102	22	36	112	21	90	58	7	26	36	19	48	102	17	108	42
	%	7.1	32.9	60.0	12.9	21.2	65.9	12.4	53.3	34.3	10.1	37.7	52.2	11.2	28.4	60.4	10.2	64.7	25.1
	DI	▲ 52.9			▲ 53.0			▲ 21.9			▲ 42.1			▲ 49.2			▲ 14.9		
建設業	実数	2	23	13	5	15	18	5	26	7	6	17	15	4	23	11	0	22	16
	%	5.3	60.5	34.2	13.2	39.5	47.4	13.2	68.4	18.4	15.8	44.7	39.5	10.5	60.5	28.9	0.0	57.9	42.1
	DI	▲ 28.9			▲ 34.2			▲ 5.2			▲ 23.7			▲ 18.4			▲ 42.1		
製造業	実数	1	9	21	2	6	23	0	19	12	1	9	21	4	6	21	8	16	7
	%	3.2	29.0	67.7	6.5	19.4	74.2	0.0	61.3	38.7	3.2	29.0	67.7	12.9	19.4	67.7	25.8	51.6	22.6
	DI	▲ 64.5			▲ 67.7			▲ 38.7			▲ 64.5			▲ 54.8			3.2		
卸売業	実数	1	6	21	3	6	19	3	12	13				1	5	21	4	21	3
	%	3.6	21.4	75.0	10.7	21.4	67.9	10.7	42.9	46.4				3.7	18.5	77.8	14.3	75.0	10.7
	DI	▲ 71.4			▲ 57.2			▲ 35.7						▲ 74.1			3.6		
小売業	実数	7	7	23	9	2	26	10	15	11				8	5	24	1	28	7
	%	18.9	18.9	62.2	24.3	5.4	70.3	27.8	41.7	30.6				21.6	13.5	64.9	2.8	77.8	19.4
	DI	▲ 43.3			▲ 46.0			▲ 2.8						▲ 43.3			▲ 16.6		
サービス業	実数	1	11	24	3	7	26	3	18	15				2	9	25	4	21	9
	%	2.8	30.6	66.7	8.3	19.4	72.2	8.3	50.0	41.7				5.6	25.0	69.4	11.8	61.8	26.5
	DI	▲ 63.9			▲ 63.9			▲ 33.4						▲ 63.8			▲ 14.7		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第1四半期:2020年4月～6月)

2. 来期の見通し

業 種 \ 項 目		業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	10	71	89	12	51	107	9	99	61	3	32	32	8	68	94	14	112	40
	%	5.9	41.8	52.4	7.1	30.0	62.9	5.3	58.6	36.1	4.5	47.8	47.8	4.7	40.0	55.3	8.4	67.5	24.1
	DI	▲ 46.5			▲ 55.8			▲ 30.8			▲ 43.3			▲ 50.6			▲ 15.7		
建設業	実数	3	26	9	4	20	14	2	31	5	2	21	15	2	26	10	0	22	15
	%	7.9	68.4	23.7	10.5	52.6	36.8	5.3	81.6	13.2	5.3	55.3	39.5	5.3	68.4	26.3	0.0	59.5	40.5
	DI	▲ 15.8			▲ 26.3			▲ 7.9			▲ 34.2			▲ 21.0			▲ 40.5		
製造業	実数	2	11	18	2	8	21	1	20	10	1	11	17	1	11	19	6	18	7
	%	6.5	35.5	58.1	6.5	25.8	67.7	3.2	64.5	32.3	3.4	37.9	58.6	3.2	35.5	61.3	19.4	58.1	22.6
	DI	▲ 51.6			▲ 61.2			▲ 29.1			▲ 55.2			▲ 58.1			▲ 3.2		
卸売業	実数	0	9	19	1	5	22	1	12	15				0	7	21	3	21	4
	%	0.0	32.1	67.9	3.6	17.9	78.6	3.6	42.9	53.6				0.0	25.0	75.0	10.7	75.0	14.3
	DI	▲ 67.9			▲ 75.0			▲ 50.0						▲ 75.0			▲ 3.6		
小売業	実数	4	12	21	4	7	26	3	19	14				4	10	23	1	29	6
	%	10.8	32.4	56.8	10.8	18.9	70.3	8.3	52.8	38.9				10.8	27.0	62.2	2.8	80.6	16.7
	DI	▲ 46.0			▲ 59.5			▲ 30.6						▲ 51.4			▲ 13.9		
サービス業	実数	1	13	22	1	11	24	2	17	17				1	14	21	4	22	8
	%	2.8	36.1	61.1	2.8	30.6	66.7	5.6	47.2	47.2				2.8	38.9	58.3	11.8	64.7	23.5
	DI	▲ 58.3			▲ 63.9			▲ 41.6						▲ 55.5			▲ 11.7		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査
地域別景気判断比較表(DI値)
(第1四半期:2020年4月~6月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)			
			前期比	来期見通	来期見通	前期比			来期見通	前期比	来期見通							
	(4～6月)	今期比					(4～6月)	今期比				(4～6月)	今期比					
														(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)
全 県	▲ 48.4	▲ 63.7	▲ 52.9	-4.5	▲ 46.5	6.4	▲ 43.8	▲ 71.7	▲ 53.0	-9.2	▲ 55.8	-2.8	▲ 29.6	▲ 44.6	▲ 21.9	7.7	▲ 30.8	-8.9
県 北	▲ 42.9	▲ 60.7	▲ 36.4	6.5	▲ 34.1	2.3	▲ 34.5	▲ 62.1	▲ 34.1	0.4	▲ 43.1	-9.0	▲ 32.1	▲ 35.7	0.0	32.1	▲ 20.5	-20.5
県 央	▲ 52.2	▲ 56.0	▲ 63.0	-10.8	▲ 52.3	10.7	▲ 51.4	▲ 67.1	▲ 67.6	-16.2	▲ 60.0	7.6	▲ 30.3	▲ 35.8	▲ 35.9	-5.6	▲ 40.6	-4.7
県 南	▲ 46.6	▲ 73.0	▲ 54.1	-7.5	▲ 49.2	4.9	▲ 39.6	▲ 80.9	▲ 50.8	-11.2	▲ 60.7	-9.9	▲ 27.9	▲ 58.1	▲ 22.9	5.0	▲ 27.8	-4.9

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)					
	前期(1~3月)		今期(4~6月)				前期(1~3月)		今期(4~6月)				前期(1~3月)		今期(4~6月)			
			来期見通 (4~6月)	前期比	来期見通				来期見通 (4~6月)	前期比	来期見通				来期見通 (4~6月)	前期比	来期見通	
	今期比	今期比			今期比	今期比												
							(A)	(B)			(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)			(A)	(B)
全 県	▲ 37.7	▲ 47.6	▲ 42.1	-4.4	▲ 43.3	-1.2	▲ 45.8	▲ 64.1	▲ 49.2	-3.4	▲ 50.6	-1.4	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 14.9	-3.9	▲ 15.7	-0.8
県 北	▲ 33.4	▲ 27.3	▲ 16.7	16.7	▲ 33.3	-16.6	▲ 28.6	▲ 57.1	▲ 31.8	-3.2	▲ 38.6	-6.8	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 29.5	-8.0	▲ 27.3	2.2
県 央	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 41.6	-3.1	▲ 39.1	2.5	▲ 53.0	▲ 61.5	▲ 57.9	-4.9	▲ 56.9	1.0	▲ 15.2	▲ 12.1	▲ 9.7	5.5	▲ 13.1	-3.4
県 南	▲ 39.1	▲ 66.7	▲ 59.3	-20.2	▲ 53.9	5.4	▲ 45.9	▲ 69.8	▲ 52.4	-6.5	▲ 52.4	0.0	▲ 1.6	3.2	▲ 9.9	-8.3	▲ 9.8	0.1

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

 :従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(地域別比較表)

(第1四半期:2020年4月～6月)

	業 種 \ 項 目		業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
			好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
今 期 状 況	全 県	実数	12	56	102	22	36	112	21	90	58	7	26	36	19	48	102	17	108	42
		%	7.1	32.9	60.0	12.9	21.2	65.9	12.4	53.3	34.3	10.1	37.7	52.2	11.2	28.4	60.4	10.2	64.7	25.1
		DI	▲ 52.9			▲ 53.0			▲ 21.9			▲ 42.1			▲ 49.2			▲ 14.9		
	県 北	実数	4	20	20	10	9	25	8	28	8	2	11	5	8	14	22	0	31	13
		%	9.1	45.5	45.5	22.7	20.5	56.8	18.2	63.6	18.2	11.1	61.1	27.8	18.2	31.8	50.0	0.0	70.5	29.5
		DI	▲ 36.4			▲ 34.1			0.0			▲ 16.7			▲ 31.8			▲ 29.5		
	県 央	実数	4	16	45	4	13	48	6	29	29	4	6	14	7	13	44	9	38	15
		%	6.2	24.6	69.2	6.2	20.0	73.8	9.4	45.3	45.3	16.7	25.0	58.3	10.9	20.3	68.8	14.5	61.3	24.2
		DI	▲ 63.0			▲ 67.6			▲ 35.9			▲ 41.6			▲ 57.9			▲ 9.7		
	県 南	実数	4	20	37	8	14	39	7	33	21	1	9	17	4	21	36	8	39	14
		%	6.6	32.8	60.7	13.1	23.0	63.9	11.5	54.1	34.4	3.7	33.3	63.0	6.6	34.4	59.0	13.1	63.9	23.0
		DI	▲ 54.1			▲ 50.8			▲ 22.9			▲ 59.3			▲ 52.4			▲ 9.9		
来 期 見 通 し	全 県	実数	10	71	89	12	51	107	9	99	61	3	32	32	8	68	94	14	112	40
		%	5.9	41.8	52.4	7.1	30.0	62.9	5.3	58.6	36.1	4.5	47.8	47.8	4.7	40.0	55.3	8.4	67.5	24.1
		DI	▲ 46.5			▲ 55.8			▲ 30.8			▲ 43.3			▲ 50.6			▲ 15.7		
	県 北	実数	2	25	17	5	15	24	2	31	11	0	12	6	1	25	18	0	32	12
		%	4.5	56.8	38.6	11.4	34.1	54.5	4.5	70.5	25.0	0.0	66.7	33.3	2.3	56.8	40.9	0.0	72.7	27.3
		DI	▲ 34.1			▲ 43.1			▲ 20.5			▲ 33.3			▲ 38.6			▲ 27.3		
	県 央	実数	5	21	39	4	18	43	3	32	29	2	10	11	5	18	42	7	39	15
		%	7.7	32.3	60.0	6.2	27.7	66.2	4.7	50.0	45.3	8.7	43.5	47.8	7.7	27.7	64.6	11.5	63.9	24.6
		DI	▲ 52.3			▲ 60.0			▲ 40.6			▲ 39.1			▲ 56.9			▲ 13.1		
	県 南	実数	3	25	33	3	18	40	4	36	21	1	10	15	2	25	34	7	41	13
		%	4.9	41.0	54.1	4.9	29.5	65.6	6.6	59.0	34.4	3.8	38.5	57.7	3.3	41.0	55.7	11.5	67.2	21.3
		DI	▲ 49.2			▲ 60.7			▲ 27.8			▲ 53.9			▲ 52.4			▲ 9.8		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

県内景況調査に対する各企業のコメント

I 今期の特徴（2020年4～6月）

1 建設業	
・年度内完成工事が多く、新年度の完成工事はだいぶ後になる【一般土木建築工事業】	県央
・無利息融資があった【木造建築工事業】	
・全体に工事量が少ない【一般土木建築工事業】	
・受注した工事がなく、採算が取れなかった【土木工事業】	
・6月に個人顧客の発注が増加。昨年比では不変【塗装工事業】	
・昨年より減価償却が減ったため採算好転【一般電気工事業】	
・従業員のキャパ的には丁度良いが予定していた工事の延期・中止の物件あり【钣金工事業】	県南
・少しずつ持ち直しか？【建築工事業】	
2 製造業	
・新型コロナウイルス感染拡大により、業務用市場の激減が影響し、売上は大きく減少。家庭向けのパック製品は善戦したものの業務用の落ち込みを補うほどではなかった【清酒製造業】	県央
・新型コロナウイルスの影響が大きく、特に業務用の動きが悪かった【水産物製造・卸売業】	
・新型コロナウイルスの影響が多大である【婦人服製造業】	
・売上が4月は前年の35%、5月は45%、6月は52%となった【杉箱製造業】	
・イベント、催事等の中止に伴う売上高の減少【印刷業】	
・首都圏の緊急事態宣言のため、現場の工事中断や遅れにより、製品の搬入ができず、売上が20～30%ダウンした【金属製品製造業】	
・受注減で需給のバランスが崩れている。もっと深刻になるかもしれない【金属製品製造業】	県北
・新型コロナウイルスの関係で家飲み層が増加した【清酒製造業】	
・コロナの影響をもろに受けている【花火製造】	県南
・売上はさほど変化はないものの、収益性の悪い土木工事向けの出荷が主となり、利益の低下となっている【コンクリート製造】	
・新型コロナウイルスの影響による売上減【印刷業】	
3 卸売業	
・前年と大きな違いはないが、発注が少し早い（公共工事関連）【建築材料卸売業】	県央
・新型コロナウイルスの影響で飲食、宿泊の顧客が厳しく、若干の影響がある【紙・紙製品卸売業】	
・アンテナ専門のため地上デジタルになってから需要が激減している【家庭用電気機械器具卸売業】	
・新型コロナウイルス禍における飲食業の不振により売上減少【鶏卵卸】	県北
・ホテル、飲食業関係の売上が激減した分をスーパー、ドラッグストア、コンビニ等の増加でカバーしてきたが、それでも微減となった【雑貨卸売業】	県南

4 小 売 業	
・新型コロナウイルス感染の中、当店は1～6月まで売上が前年比でアップしている。5、6月は特別給付金10万円もあり、毎日来店客が多く、忙しい【時計小売業】 ・新型コロナウイルスの影響で時短営業や休業をしたため、売上、利益とも大きくマイナスした【婦人靴小売業】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、顧客の往来がなく、景気状況は悪化している【麺類小売業】 ・テナントのある百貨店の時短営業及び食品部門のみの営業により、売上が激減【茶類小売業】 ・プラスマイナスゼロで上半期(9月)を終えそう【自動車部品小売業】 ・新型コロナウイルスのため、メーカーの生産ラインが一時停止するほどの影響があり、商品の出荷遅れの他、人件費以外の費用拡大により、大幅な減収・減益となった【自動車小売業】 ・新型コロナウイルスの影響で特に葬儀用のお花の注文が落ち込んでいる【花・植木小売業】 ・4/21～5/10まで休業のため、前年比でダウンしている【化粧品小売業】	県央
・4、5月は昨年同月より売上が増加した。6月は昨年同月に大きな仕事があったため、その分売上が減少した【生花・造花販売】 ・大口の注文菓子の減少(人が集まれないので冠婚葬祭が減少)【菓子製造販売】 ・取引先のお店が県の休業要請を受けて休業したため、おのずと当社の売上減になった【酒類販売】	県北
・減収・減益【燃料小売業】 ・コロナ禍の影響で飲食店が苦戦しているので、酒類の売上が減少。インターネット通販の食品売上が前年の2倍近い。全体としては15%くらい減少【酒類・食料品小売】	県南
5 サービス業	
・新型コロナウイルスの影響により売上減少【普通洗濯業】 ・コロナの影響により得意先が休業のため、売上減が続いている【ビルメンテナンス業】 ・新型コロナウイルスの影響を直接受ける業種のため、4月売上は前年比で半減。4～6月についても半減程度まで落ち込む見込【運輸業】 ・3月から6月の売上が前年比で9割減少【日本料理店】	県央
・新型コロナウイルスの影響による売上減少【食堂】 ・動きがピタリと止まった感じである【IT関連】 ・売上は横並びであったが、7月に急激に下がった。利益もない【ビルメンテナンス業】 ・新型コロナウイルスの影響が売上には出ていない【司法書士】	県北
・前年同期比で約4割売上減少【自動車钣金業】 ・予定していた行事等キャンセル・中止が多く、全くダメ【写真館】 ・コロナ対抗のための観光キャンペーン等で少し売上が増加した【広告代理店】	県南

Ⅱ 来期の見通し(2020年7～9月)

1 建設業	
・ 完成前工事が多く、工事額は前年並を見込む【一般土木建築工事業】	県央
・ 工事も動き出したので今後は良さそう【一般土木建築工事業】	
・ 新型コロナウイルスから少しは持ち直すだろう【木造建築工事業】	
・ 昨年に比べ受注する工事が少ないので利益は少ないと思う【土木工事業】	
・ 昨年比不変と予想【塗装工事業】	
・ 今期と同様を見込む【一般電気工事業】	
・ 引き合いの減少による完成工事額の減少を見込む【木造住宅総合工事】	県北
・ 完成工事額は減少となる見込【総合建築工事業】	県南
・ 今後の民間投資の差し控え、冷え込み等を考えると来期以降、大きな落ち込みが予想差される【板金工事業】	
2 製造業	
・ 感染拡大の第2波、第3波が発生するリスクが色濃く残り、社会隔離による飲食店の売上減。地元においては祭り等イベント中止がさらに追い打ちをかける【清酒製造業】	県央
・ 新型コロナウイルスの影響が落ち着き、盆需要が伸びることを期待する【水産物製造・卸売業】	
・ 新型コロナウイルスの影響はしばらく続く見込【婦人服製造業】	
・ コロナの収束が予測できない中、コロナ感染防止の需要に注力【印刷業】	
・ 夏の落ち込みは予想できない【印刷業】	
・ 6月中旬以降は、ほぼ例年どおりの操業状況となっている。今後、年末に向けて受注は増加していく予定だが、コロナの第2波が不安である【金属製品製造業】	
・ 経済の動向が見えない。いままでの延長戦上にあるのか、新しいステージなのか不明【金属製品製造業】	
・ 予測不能【清酒製造業】	県北
・ 今期と同様を見込む【花火製造】	県南
・ 建築、土木工事とともに件数が少なく、売上、採算ともに減少となる見込【コンクリート製造】【コンクリート製造】	
・ 売上は6、7月は少し回復したが、8月は前年比50%以下に戻る見通し【乾麺製造業】	
3 卸売業	
・ 新型コロナウイルスの影響が続く限り好転は難しいと思う【食肉卸売業】	県央
・ 今期と同様を見込む【紙・紙製品卸売業】	
・ アンテナだけでなく、季節によって売商品を変えていきたい。夏はエアコン、冬はストーブ等を電器店に販売する【家庭用電気機械器具卸売業】	
・ 今期の状況が続くものと思われる【鶏卵卸】	県北
・ ホテル、飲食業関係の売上が回復しないまま、スーパー、ドラッグストア、コンビニ等の売上が減少していく傾向にある【雑貨卸売業】	県南

4 小 売 業	
・新型コロナウイルスの影響でまだまだ厳しい状況が続くと思われる【婦人靴小売業】	県央
・新型コロナウイルス感染がおさまらない限り、景気悪化は続くと思う【麺類小売業】	
・ギフト商品の動きも今年は期待薄。密を嫌う傾向はしばらく続くと思うので、百貨店の集客は未だ戻ってこないと思われる【茶類小売業】	
・期待ゼロ【自動車部品小売業】	
・新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、メーカーの生産ラインが徐々に回復しているものの、出荷遅れの解消には時間を要することから前年同期より2割程度の減益を見込む【自動車小売業】	
・今期と同様の状態が続くと思われる【花・植木小売業】	
・通常の状態に戻っていないため、売上減少が見込まれる。その分仕入等も調整・調整するため、経常利益は不変と推測する【生花・造花販売】	県北
・売上の回復は望めないので、経費の減少と節約経営【菓子製造販売】	
・昨年のような価格の値上げや消費税増税に伴う需要の先取りがないため売上減少を見込む【タイヤ販売】	
・自主的に休業しているお店が多く、先行きも暗い【酒類販売】	
・女性のお客様が増加して来ているので、その分売上が期待できる【衣類販売】	
・今期同様、減収・減益を見込む【燃料小売業】	
・8月は特にお祭りの中止、帰省の減少でかなり厳しいと予想される【酒類・食料品小売】	県南

5 サービス業	
・今期と同様と思う【普通洗濯業】	県央
・得意先も徐々に営業してきているが、まだ完全とは言えないので売上の増加にはなっていない【ビルメンテナンス業】	
・ユーザーの高齢化による車両所有減、車両自体の腐食による廃車等で業務が縮小するため売上減少を見込む【自動車整備、販売】	県北
・県をまたぐ移動が制限されると売上に影響を生じる可能性が出てくる【司法書士】	
・コロナ禍の継続次第で先行き不透明【自動車钣金業】	県南
・キャンセル・中止の行事が続出する。その対応が追い付かず【写真館】	
・大きく動くことはないが、コロナ次第で広告が減ると厳しい【広告代理店】	